

研修3日目。厚い雲に覆われた朝でした。本日から生徒さん達は自分達の力で学校まで登校します。学校が始まるのが9:00だったので、集合時間は8:50です。天候が悪い中、どれだけの生徒さんが時間通りに集まれるか心配でもありました。一番に到着した生徒さんは、7:40に学校に登校してきました。8:00を過ぎる頃には、続々と集まってきました。「ファミリーにバス停を教えてくださいました」「遅れないように早く出てきました」など、しっかりと考えて行動出来たようです。そして約束の集合時間までには全員の登校が終了しました。少し早く到着した人たちは、一旦荷物を学校に預けて近くを散策していたようです。

本日は午前のレッスンの後、MITに移動しました。初めて全員で地下鉄に乗り、目的地まで移動しました。30分程度の道のりではありますが、誰一人迷うことなくMITに到着することが出来ました。ここではMITで物理学を研究している、大学院生の王さんと会いました。王さんは東大を卒業し、MITの大学院で物理学を学んでいます。ロジャービルディングからツアーはスタートしました。滅多に入ることの出来ない講堂(入学式を行います)、教会(無宗派の教会なので、誰でも使うことができます)と案内して頂きました。その後学内を移動して、MIT名物のドームを外から眺めました。このドームといえば、学生がハック(いたずら)でタクシーを乗せてしまったことで有名です。王さんは、身振り手振りを使い、また時折クイズを出しながら説明して下さいます。(ドームの内部は何になっているのでしょうか? 答え: 図書館)メディアラボやテトリスのハックをしたビルを巡り、一同はMITの教室に入り、王さんとの質疑応答が始まりました。このツアー中、理系の生徒さん達は常に王さんの側にいて、少しの話も聞き漏らすまいと集中していました。この質疑応答では、中嶋 理名さんや細谷 祥子さんが、何度も何度も手を挙げて質問していました。勉強のこと、アメリカでの生活のこと、研究内容のこと。王さんは全て丁寧に答えて下さいます。宇宙で一番冷たい場所はどこか? 宇宙のダークマターについて。また、これから学ぶならば何の分野が良いかという問いには、「文理問わず、数学とプログラミングは基礎から学んだ方が良い」と、人工知能の研究者、統計学の研究者がGoogleやFacebookから数千万円の初任給でオファーが来ている状況を説明して下さいました。また、MITは世界中から様々な国籍・人種の学生が集まります。日本の大学と異なる所は、多様性を大学側が推し進めていること(男女比は概ね5対5になるように選抜)だそうです。残念ながら日本からの留学生は少ないようです。予定の時間を30分以上もオーバーして、質疑応答は終了しました。意欲的に発言をしている人もいましたが、残念ながら眠気に勝てなかった人もいました。もちろん時差ボケの辛さ、寒い屋外から暖かい教室に移動したことなどはあったでしょう。しかし、MITの現役の大学院生と話が出来る機会は、非常に貴重です。この時間を全員が有意義に過ごして欲しかったと思いました。MITの後にも多くの方に来て頂いてお話をする機会があります。日本に帰ってから後悔しないよう、微力な

がら背中を押して参りたいと思います。

MIT ツアーの後は、大学生協（COOP）前で解散となりました。各々地下鉄の地図を見ながら地下鉄の改札に向かいます。実はこの日、丸橋 茜里さんと宮本 初音さんのホストファミリーから、夕食のご招待を受けました。田中先生と小原先生、バレスターの3名は丸橋さんと宮本さんと共にファミリー宅に向かいます。地下鉄とバスを乗り継いでたどり着いたお宅は、海のすぐ側（プライベートビーチのようにお庭から直接海に入ることが出来ます）、多くの留学生を受け入れた経験があり、留学生の為の部屋やバスルーム、キッチンがいくつもあるお宅でした。元シェフであるホストファザーの食事はとても美味しく、食事をしながらも話題は英語の話になりました。ちょうど同じ時期にステイしていたサウジアラビアの留学生と共に、英語を話すこと、母国語で考えること、それを同時に行うことの難しさを考えました。また、ホストブラザーは成績が非常に優秀、運動でもアメリカで上位に入る結果を残し、趣味で投資をするというハイパー中学生でした。世界中から留学生が集まるので、色々な国に友達がいるとのこと。丸橋さんや宮本さんのゆっくりとした英語についても、しっかりと聞いてくれています。本当に素晴らしいファミリー、素晴らしいおもてなしを頂きました。

さて、生徒さんは本日初めて自力でファミリー宅まで帰りました。帰宅したら連絡の電話をするように約束していましたが、3組6名の生徒さんが報告を忘れていました。こちらから何度も電話をかけましたが、緊急電話を鞆の中に入れてままにしていたので、着信音にも気づかなかったようです。最終的にはホストファミリーのお宅に連絡を入れ、電話に出てもらいました。時間通りに行動することが出来たら、また一つミスが出てきました。日本ではこのような事を忘れることはないでしょうが、ここはアメリカです。慣れない道を自力で帰宅して、疲れた体でファミリーに迎えられたら、学校で言われたことは忘れてしまうのかもしれませんが、しかし、そのような状況でも、しっかりと行動出来ている人もいます。ただ単に失敗を悔やむだけでなく、次はどうしたら忘れないかと考えられるように行動してもらいたいと思います。以上が本日のご報告です。

MIT を案内してくださった王さん。



色々な質問が飛び交います



ホストファミリー宅で

